



第九たいむず

Beethoven

No.10 2015.8.6 通刊1152号 担当 Todo

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(あきら)



先週のエアコン故障のアクシデントではご迷惑をおかけしてすみませんでした。扇風機を持参してくださった方、うちわや扇子を差し入れてくださった方、本当にありがとうございました。練習時間内に復旧できて良かったですね。

◆ 緊急連絡は機能しましたか？ 今週急遽練習場変更となりました！！

先週の、猛暑による突発のエアコン故障の余波が続いており、本日、練習場緊急変更となりました。昨年制定した「緊急連絡」の今年初めての発動でしたが、上手く機能したでしょうか？これからは有り得ますので、メールのチェックはするように習慣づけてください。

◆ 来週の8月13日(木)練習会場は通常練習会場に再度変更します。

来週(13日)の練習会場は1度、「お盆休み休館のため、中央公民館視聴覚室に変更」と連絡しましたが、会館のご厚意で使用させていただけるようになりました。エアコンの修理も完了し、快適な練習会場を13日も使わせていただいだけ、感謝ですね。

<予定どおり修理が完了しない場合は、また緊急連絡です。>

◆ 本日は駐車料金の精算日です。

先週配布されました専用の精算用紙に、木曜日の練習時間内で1回200円以上の領収書を5回分貼り、名前を記入して受付に提出してください。一律1000円と交換します。1回の領収書が200円未満の場合は、その領収書は取っておき、次回200円未満の領収書と一緒に2枚を1回分とします。

精算日に忘れた人、又お休みなどで5回分の領収書がない人は、次回9月3日(木)の精算になります。精算日は毎月第1木曜日のみになります。精算日当日は受付の混雑が予想されますので少し早めにお出掛けください。

◆ 先週のおさらい

♪おめでとうクリスマス

出だしはリズムカルに。12ページ上段2小節目「Good tidings・・・」からはレガートに歌う。下段5小節目の4拍目からはアルトが旋律になるので他のパートはアルトを引き立てるように歌う。

◆ クリスマスメドレーⅢ 練習用 CD 配布中

女声用(ソプラノ、アルト)男声用(テノール、バス)各@200円、バス大里さんまで。

◆ サマーレッスン参加受付中 8月23日(日)9:30~16:00 中央公民館

お弁当(550円/栄寿亭のカツ丼&お茶)を希望される方は8/13(木)までに代金を添えて申し込んでください。なお、申し込みをしていない場合でも当日参加はOKですので、ご都合がつく場合はぜひ参加してください。(その場合昼食はご自分でご用意ください)

◆ 今後の予定

8月23日(日) サマーレッスン兼海外特別練習⑧(中央公民館大ホール)

10月17日(土) 18日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)

11月 6日(金) ドイツ・トリアー公演(現在90名、まだまだ参加者募集中)

12月19日(土) 第42回第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ イベント情報

★前橋・市民オペラ合唱団 第3回公演 椿姫 8月9日(日)前橋テルサ ホール

テノール金井初男さんが出演されます。チケット希望される方は金井さんへ。

★群馬オペラ協会結成10周年記念公演『みづち』 9月6日(日)前橋市民文化会館大ホール

アルト菊池きよさんがみづち合唱団の一員として出演します。なお本公演に先立ち8月8日(土)に榛名湖ミュージックフェスティバル2日目演目として、「みづち」ハイライトがあります。

詳細問合わせ、チケット等は、アルト菊池さんへ。

★群響創立70周年記念オペラ『蝶々夫人』 9月19日(土)桐生公演 9月23日(水)前橋公演

テノール外處さんが合唱で出演され、桐生公演では諸田広美さんがすずき役で出演されます。

指揮 三ツ橋敬子、演奏 群馬交響楽団、チケット発売中 詳しくはチラシをご覧ください。

★日本とロシアの音楽の歴史的交流「音楽の架け橋」 9月23日(水) 14:00開演

高崎シティギャラリー コアホール

ユリヤ・レヴ先生が出演されます。 @2,500 円 詳しくはチラシをご覧ください

◆ お父さんコーラス大会に参加してきました

バス 大里和熙

8月2日(日)『第26回関東お父さんコーラス大会inかわぐち』が開催されました。当団男声陣が多く参加している「メンネルコールJOY」が今年も参加しました。今回は埼玉男声コーラスフェス



ティバルも兼ね、高校の男声コーラスも参加するというものでした。JOYの女声陣の温かいサポートも受け赤羽先生指揮の下、「故郷」、「黒田節」を歌い大きな拍手を頂きました。第2部の懇親会も、ビール片手に、男声定番曲を歌い、暑い夏の日を楽しみました。

◆ 新人さんより自己紹介②

ソプラノ ^{ひつま} 櫃間めぐみさん

6月からこの合唱団のソプラノに入りました^{ひつま}櫃間めぐみです。中学生の頃に観た第九のビデオに憧れ、いつか自分も第九を歌ってみたいと思い、今回思いきって入団しました。学生時代の授業位しか合唱の経験は無く右も左もわからない初心者ですが、練習を通して沢山学び先輩の皆さんと同じくらい声が出せるように頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



◆ 今月のお誕生日予告！🎵 8月生まれの皆さん🎵おめでとうございます！

今月のお誕生日のみなさまをご紹介します♪(団員登録済の方を第1週に掲載します。) **今月より予告方式に変更してみました。**

土橋 実加 (3日/A) 金井 初男 (8日/T) 赤羽 洋子 (11日/指)

大澤 祐美子 (11日/S) 飯島 法子 (13日/S) 飯島 剛史 (17日/T)

住谷 伴 (24日/指) 田中 久子 (26日/A)



◆ 高崎夏祭り、市立美術館情報

≪先々週、夏祭り準備を紹介して頂いた、本木さんの本番勇姿です。カッコいいですね！(事務局長が撮って送ってくれました)≫

◎赤羽先生の東京のお孫ちゃん可愛いですね。先生からそのお孫ちゃんを連れて行った高崎市美術館の「チンチン電車」の話について調べました。≪裏面をどうぞ≫



◆ 高崎のチンチン電車について、調べてみました

赤羽先生が、夏休みになった東京のお孫ちゃんを高崎市美術館に連れて行きました。『鉄道とアートの旅』(6. 28～9. 27)という夏休み特集でした。3階の展示場に、高崎に昔走っていた「チンチン電車」についての写真展示があり、なんと先生が中学3年まで住んでいた頃の『赤羽レコード店』の写っている写真が有り、お孫ちゃんによく話してあげた、という話を聞きました。筆者も展示を見に行き、かすかに記憶のある「チンチン電車」を調べてみたくなりました。インターネットで調べた一部です。

★平成12年の高崎市制100周年にあたり「広報たかさき」に連載した、『たかさき100年』第67回分に以下のようにその歴史を書いています。その他沢山ブログが発信されていました。

高崎と渋川間を結ぶ路面電車(東武鉄道軌道線)は、明治43年(1910)に開通し、幾多の変遷を経ながら沿線住民の足として活躍していました。

昭和20年代の後半、商工業に活況がよみがえり、トラックなど大型輸送機関が普及してくると、道路整備の立ち遅れが指摘されるようになりました。市街地の中心部を通る路面電車は、自動車交通にとってじゃまものであるという人や、電車の運行によって商売に支障が出ているという沿線商店街の意見もあり、次第に撤去の動きが高まってきました。さらに大型バスが登場し、そのスピード・輸送力は、路面電車の代替輸送機関として十分機能するという見通しもありました。

電車が通過する沿線の市町村長や議会議員が、軌道線を経営する東武鉄道に撤去要望書を提出したこともあって、東武鉄道は昭和28年2月に運輸・建設両省へ廃止許可申請を行いました。一方、通勤・通学に路面電車を利用している人たちが東武鉄道の労働組合から廃止反対の声も上がり、同年四月に運輸省運輸審議会の公聴会が開かれました。廃止賛成側の公述人として、高崎市から当時の市長・市議会議員・商工会議所会頭が出席しました。

昭和28年5月12日には、路線廃止が許可され、開業から43年間親しまれてきた路面電車は、**6月30日限りでその歴史に幕を閉じました。**

電車の廃止後、沿線の市町村では道路の舗装工事が進みました。高崎の市街地でも、昭和28年9月までに線路の撤去と舗装工事が終了し、田町、九蔵町通りの交通の流れは多少よくなりました。しかし、トラック・バスなどの増加に伴い、さらに対応が必要となり、市街地の有志が道路拡幅について市に陳情しました。市はこの陳情を受けて、**昭和31年度から5か年計画で、9メートルの道路を20メートルに拡幅**することにしました。戦災復興ですでに拡幅されていた連雀町地内を除き、昭和31年7月、新町交番前から本町3丁目までの工事に着工しました。すべての工事が完了し、いわゆる「田町通り」が面目を一新したのは、**昭和35年**のことでした。

その後、本町3丁目から末広町に至る間の拡幅工事が行われ、さらに本町通りから北に通じる旧三国街道にも工事が及び、来るべき自動車交通時代に向けた準備が進められていきました。

戦後の復興、経済成長の波で、昭和28年6月30日にその活躍の幕を閉じたとのことでした。

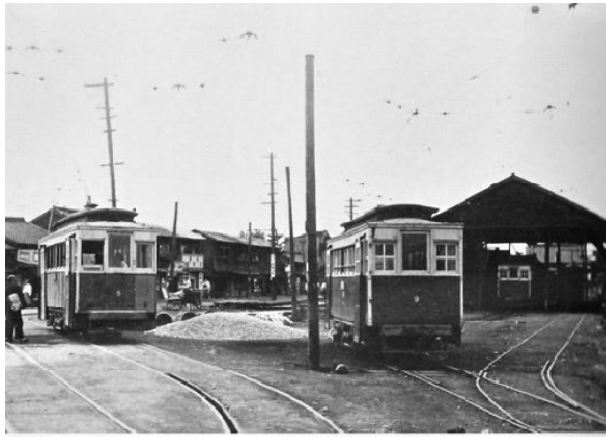
高崎市美術館の展示写真には、高崎駅から、飯塚車庫辺りまで、10枚くらいの写真が見られます。今の景色に重ね合わせて見る技法も示してくれます。見に行ってください。

9月27日まで、シニア65歳以上は無料です。

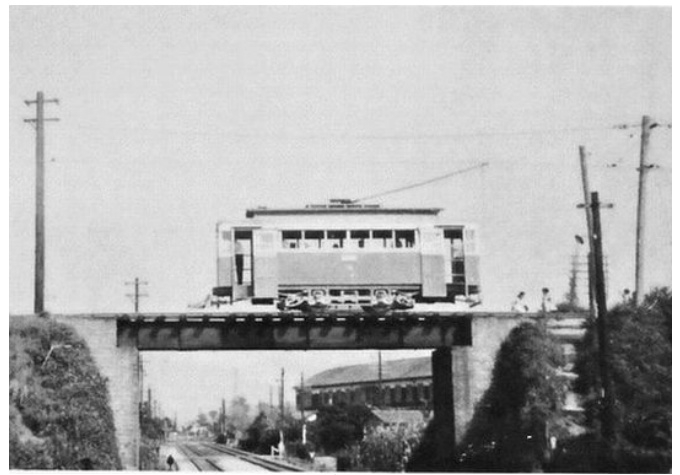
昭和28年と云えば私が小学3年生。富岡に育ち、母の叔母、祖母が通町に居たので、母に手を引かれ高崎には良く行きました。このチンチン電車も私の記憶に、はっきりと残っています。

お祖母ちゃんに古い昭和の写真を身近なものとしてお話し頂いた高層マンションに住むお孫ちゃんどんな感想を持ったかな？

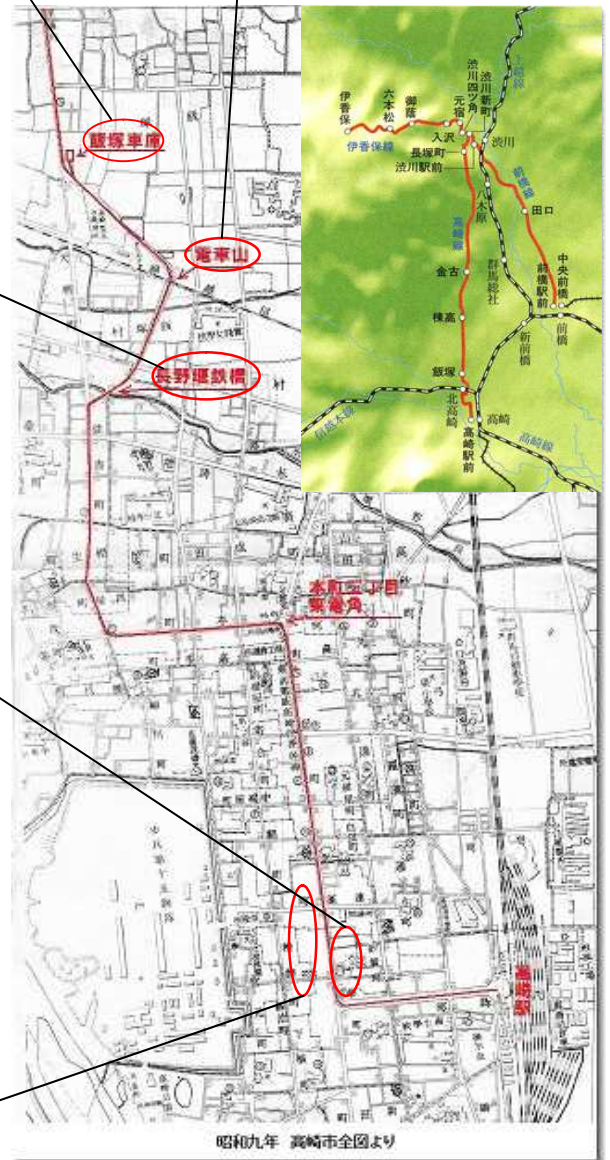
ほぼ70歳以上の方でないとい記憶無いでしょうね。古い高崎よく見てください。



飯塚車庫 (S27型) P・田部井康修氏
あかぎ出版「思い出のチンチン電車」より (撮影: 田部井康修氏)



長野道を渡るチンチン電車 (昭和27年頃)
あかぎ出版「思い出のチンチン電車」より (撮影: 田部井康修氏)



← 昭和28年新町通り。赤羽レコード店が見えます。
道幅も9メートル、狭いですね！